

回収ごみ昨年の半分

銚子川流域清掃活動

紀北町銚子川漁協（松の又口川、鍋谷川、河口場）の清掃活動が13日、組合員20人で取り組んだ。

銚子川流域では夏休み中にも今年も県内外から家族連れなど多くの人たちが



銚子川でごみを回収するキャンプイン海山の宿泊客（13日、紀北町海山区便ノ山の銚子川で）

が訪れた。大量に放置されたごみ回収は毎年恒例。

この日の清掃活動には銚子川漁協、便ノ山区、中電、電源開発尾鷲事務所、キャンプイン海山の職員や利用客、町商工会青年部、銚子川を愛する町外の人でつくるみやま人、近畿自動車道紀勢線の工事関係者、町職員などが参加した。

参加者は又口川上流の八幡峠登り口付近から魚跳溪、鍋谷川上流の中電銚子川第2水力発電所の付近から下流域、キャンプイン海山付近、平尾ぶちから銚子川河口までのグループに分かれた。

河川敷や道路の草むらに落ちていたパーベキュ用の金網やキャンプ用具、空き缶、河川改修工

事後の残された土のう袋や鉄板など、約3時間の回収作業で2トトラック1台分のごみを回収した。昨年の半分の量だという。

今年は便ノ山区が町の委託で夏休みの期間、環境パトロールを実施。観光客が多い週末や盆休みにごみの持ち帰りを呼びかけた効果でごみが減ったという。工事関係者にも河川清掃の徹底を呼びかけていく。

4月21日 9A15D

右